|  |
| --- |
| 情報Ⅰ　No.05情報セキュリティ |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 | １ | 組 |  | 番 |  | 名前 |  |

2022©Assumption-Kokusai

|  |
| --- |
| 第1章　情報社会の問題解決　６．情報社会と情報セキュリティ |

１．サイバー犯罪とは

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【実習１】コンピュータや情報通信ネットワークを使った犯罪には、どのようなものがあるか。　　　　　どのような犯罪があり、どのような対策をすればいいかを３つ調べなさい。

|  |  |
| --- | --- |
| 犯罪の種類 | 説明 |
| （例）ワンクリック詐欺 | ・WebやメールのURLをクリックすると、契約が完了したかのように見せて、多額の請求を行う |
|  |  |

【実習２】上記犯罪の相談窓口として、各府警・県警のサイバー犯罪対策室などがある。　　　　　自分の住んでいる府県の上記ホームページを確認し、注意喚起情報を調べてみよう。

|  |  |
| --- | --- |
| Web名 |  |
| 掲載されている　注意喚起情報（２つくらい） |  |

【知識の整理】 |
| 　①（　　　　　　　　　）＝コンピュータや情報通信ネットワークを使った犯罪 |
| 　　　　※（サイバーテロ）＝サイバー犯罪のうち情報インフラの破壊など申告かつ悪質なもの |
|  |
| 　②サイバー犯罪の分類 |
| 　　１）（　　　　　　　　　　）＝セキュリティの欠陥や不正にID・パスを使って侵入すること |
| 　　　※（　　　　　　　　　　　　）＝だましたり、盗み見るなど情報技術を使わずに情報を盗む |
| 　　　（例）他人のID・パスを利用して不正にSNSなどに侵入する |
| 　　２）（コンピュータ・電磁記録対象犯罪）＝コンピュータを不正に操作しデータを改ざんするなど |
| 　　　（例）コンピュータウイルスやマルウェアの作成・提供 |
| 　　３）（　　　　　　　　　　）＝ネットワークを利用して行う犯罪 |
| 　　　（例）違法な情報の送信、掲示板での誹謗中傷、フィッシング詐欺、ワンクリック詐欺　 |

２．不正なソフトウェア

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 【実習３】マルウェア（コンピュータウィルス、ボット、スパイウェア、ランサムウェア）は　　　　　どうやって感染し、どのような被害をもたらすか。1つ調べて書いてください。

|  |  |
| --- | --- |
| どうやってウィルスに感染するか？ | 感染するとコンピュータどうなるか？ |
|  |  |

【知識の整理】 |
| 　①（　　　　　　　　　）＝被害を与えようとする悪意を持って作成された不正ソフトウェア |
| 　　　・（コンピュータウィルス）＝様々な被害（破壊、送信など）を与えるプログラム。 |
| 　　　・（　ボット　）＝ウィルスに感染させたコンピュータを外部から操り、悪用するプログラム |
| 　　　・（スパイウェア　）＝情報機器内の情報を収集し、収取者に送信するプログラム |
| 　　　・（ランサムウェア）＝情報機器内のデータを勝手に暗号化し、複合を条件に支払いを要求する |
| 　　　　　　　　　　　　　プログラム　 |
|  |

【実習４】ワンクリック詐欺・フィッシング・ネットショッピング詐欺について、どのような内容か

　　　　　と対策について調べて書きましょう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | どのような犯罪か？ | 対策をどうすればいいか？ |
| ワンクリック詐欺・架空請求 |  |  |
| フィッシング |  |  |
| ネットショッピング・ネットオークション詐欺 |  |  |

３．情報セキュリティの確保

|  |
| --- |
| 【知識の整理】 |
| ①（　　　　　　　　　）＝サイバー犯罪・攻撃からコンピュータやネットワークを守る技術 |
| 　　　・（　認証技術　）＝　利用者するひとがその権利があるかどうかを確認する技術 |
| 　　　（例）ユーザＩＤとパスワードによる認証　→（生体認証）、二要素認証も増加 |
| 　　　・（情報セキュリティポリシー）の作成　＝　ルールや対応など組織としての基本方針 |
| 　　　　　→ |
| 　　・個人の取り組み　＝　法律を守る、正確な知識による的確な判断　 |

|  |
| --- |
| 第1章　情報社会の問題解決　７．情報技術の発展による生活の変化 |

１．ソーシャルメディアと私たち

|  |
| --- |
| 【知識の整理】 |
| 　①（　　　　　　　　　　）＝情報通信ネットワーク上で利用者が情報交換することで成り立つ |
| 　　　・（　　　　　　）＝投稿に利用者同士がコメントや評価を付け合い関係を広げるサービス |
| 　　　・その他の例：ブログ、マイクロブログ、電子掲示板、メッセージ交換、動画共有サイトなど |
|  |

【実習５】ソーシャルメディアの利点と課題を3つずつ調べて記入しよう。

|  |  |
| --- | --- |
| 利点 | 課題 |

|  |
| --- |
| 【知識の整理】 |
| 　②ソーシャルメディアと生活の変化 |
| 　　１）背景：情報通信ネットワークの発達とスマートフォンの普及 |
| 　　２）利点：個人の情報発信が可能、災害時の連絡手段　→　社会の中で重要な役割 |
| 　　３）利用時に気を付ける点： |
| 　　　　　自分の個人情報を守る、悪口・誹謗中傷を書き込まない、他人のプライバシーに配慮 |
| 　　　　著作権を侵害しない、利用のルールを決める、健康に配慮する・・ |
| 　　　　　↓ |
| 　まとめ：ソーシャルメディアは便利、注意点を意識し、メリットを生かせるように利用する　　　 |
|  |

【振り返り】　No.6の授業で学んだこと、気づいたこと、考えたことを箇条書きで書きましょう。

　　　　　　　　☞3行以上

|  |
| --- |
|  |